活動計画概要

地域ネットワーク部会

平成23年6月10日

全体目標

がんにより死亡する人の減少
がんの年齢調整死亡率（75歳未満、人口10万人当たり）を平成29年度までに20%減少させる。

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上

部会が担当する分野の課題と目標

【目標】 **住んでいる地域にかかわらず県民が希望する医療を受けられる。**

中期目標（2年後）：すべての病院・施設がパスについて知識をもち、各医療機関の医療資源を把握し、有効活用する

指標：パス患者適用率

測定方法：拠点・支援病院のパス対象患者数・適用患者数の件数を合算、分析

最終目標 （7年後）：県民が希望する医療を受けられるよう、患者の意見を聞き、希望するすべての患者にパスを適用し、地元の施設に係る患者の増加、拠点病院の集中化解消を行う。

指標：パス患者適用率

測定方法：拠点・支援病院のパス対象患者数・適用患者数の件数を合算、分析

施策毎のアウトカム目標

【アウトカム目標 1】
医療者、行政などから医療機関の機能や役割が見え医療資源が適切に有効活用される。

【アウトカム目標 2】
地元の施設にかかる患者の増加

施策毎のアウトプット目標

【アウトプット目標1】
2011年9月までに診療機能アンケートを作成する。
調査日程については、県と調整。
2012年3月までに 県と協議会のHPに情報を公開、全ての病院・がん診療を行っている施設に冊子を配付する。

【アウトプット目標2】
2012年3月までにがん診療を行っている106施設に配布する

【アウトプット目標3】
2012年3月までに7回、院内又は一般向けに研修会を行う

【アウトプット目標4】
2012年3月までに子宮がん地域連携パスを作成する

【アウトプット目標5】
2012年3月までに30人、2013年3月までに130人沖縄県内でがん地域連携クリティカルパスを適用する

【アウトプット目標6】
2012年3月までに30人、2013年3月までに130人沖縄県内でがん地域連携クリティカルパスを適用する

【アウトプット目標7】
2012年3月までに30人、2013年3月までに130人沖縄県内でがん地域連携クリティカルパスを適用する

【アウトプット目標8】
2012年3月までに30人、2013年3月までに130人沖縄県内でがん地域連携クリティカルパスを適用する

【アウトプット目標9】
2012年3月までに30人、2013年3月までに130人沖縄県内でがん地域連携クリティカルパスを適用する

【アウトプット目標10】
2012年3月までに30人、2013年3月までに130人沖縄県内でがん地域連携クリティカルパスを適用する

施策アクションプラン

【施策1】
がん診療を行っている医療機関には診療機能に関する調査を行い、八重山・宮古・久米島・北部では患者調査を行い実態を明らかにする。

【施策2】
拠点病院に難治がんや稀少がんの対応状況に関するアンケート調査を行う。

【施策3】
医療機関の機能・役割分担を促進させるため、私のカルテのチラシを作成し広報する。

【施策4】
がん地域連携クリティカルパス研修会を企画開催する。

【施策5】
新たな疾患のパスの作成。

【施策6】①
乳がん地域連携パスの運用、改訂、評価経過観察以外のパスの作成、ロールモデルを作り、専門施設で共有し、更なる促進を図る。

【施策6】②
胃がん地域連携パスの運用、改訂、評価経過観察以外のパスの作成、ロールモデルを作り、専門施設で共有し、更なる促進を図る。

【施策6】③
肺がん地域連携パスの運用、改訂、評価経過観察以外のパスの作成、ロールモデルを作り、専門施設で共有し、更なる促進を図る。

【施策6】④
肝がん地域連携パスの運用、改訂、評価経過観察以外のパスの作成、ロールモデルを作り、専門施設で共有し、更なる促進を図る。

【施策6】⑤
大腸がん地域連携パスの運用、改訂、評価経過観察以外のパスの作成、ロールモデルを作り、専門施設で共有し、更なる促進を図る。

【施策6】⑥
前立腺がん地域連携パスの運用、改訂、評価経過観察以外のパスの作成、ロールモデルを作り、専門施設で共有し、更なる促進を図る。

ワークシート1で導き出された対策項目

【対策項目 1】
医療者、行政などすべてに対する情報不足の解消

【対策項目 2】
地元医療施設での治療の促進